

1 2 / 2 3 (木) の発表

はじめよう、つづけよう。

「北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 北海道スタイル

報道発表資料の配付日時 12月23日(木)

発表項目 (行事名)	令和3年度トムラウシ南沼汚名返上プロジェクトの活動報告について		
概要 ※日時・場所・ 内容等	<p>道では環境省や地元山岳会等と連携し、平成29年度から「トムラウシ南沼汚名返上プロジェクト」を実施しており、令和3年度の活動について報告いたします。</p> <p>1 携帯トイレ配布ボックスの設置 登山者が協力金を支払うことで、携帯トイレの持参を忘れた方でも現地で入手できる取組を試行するため、7月9日(金)午前11時～10月13日正午までの期間で設置しておりました。携帯トイレの配布実績については次のとおりです。 配布数：190個 回収金額：75,781円 1個あたり平均：約398円 携帯トイレ回収数 短縮登山口：1,153個 温泉登山口：300個 ※詳細については別添資料を参照ください。 回収した協力金は現在、携帯トイレ補充に当てていますが、協力金の額が増えれば登山道の補修や維持管理への活用も検討しています。</p> <p>2 トムラウシ短縮登山口アンケート調査 携帯トイレ普及の実態や利用者からの要望を聞き取るためのアンケート調査を8月8日(日)3時30分～7時00分の間で実施しました。 集計の結果、道外からの日帰り登山が多く、携帯トイレの所持率は64%でした。しかし、所持していない場合の理由は、「日帰りのため」がほとんどで、「携帯トイレが必要と知らなかった」と回答したのは1名だけでした。 ※詳細は別添資料を参照ください。</p> <p>以上の取組から、携帯トイレに対する認知度は高い水準であり、これまでの普及啓発の成果であると考えられます。活動から得たデータを基に、来年度以降も各関係機関と連携し、山のトイレ問題解決に向け取り組みを進めて参ります。</p>		
参考 ※発表のポイント・ねらい、経緯等	今年度実施したトムラウシ南沼汚名返上プロジェクトの活動内容を周知するものです。		
報道(取材)に当たってのお願い			
留意事項 ※日時・場所・発表者等	同時配付 同時レク 記者レク		
その他			
担当 (連絡先)	北海道十勝総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係(担当者:村上(秀)) TEL:0155-26-9028(直通) 環境省上士幌管理官事務所(担当者:国立公園管理官 齋藤) TEL:01564-2-3337(直通)		
区分	添付資料名	項目	
別紙	携帯トイレ配布実績、アンケート集計表、写真等	①	2 3 4

※ 項目の内容は次のとおり

[1 同時送信する 2 記者室へ提供する 3 担当係にて保管する 4 FAX送信する]

※ 項目3の「担当係で保管する」は資料にできない場合(冊子類・CD-ROM等)のこと。